

令和5年度 経営発達支援計画事業 報告書 [事業 NO.1]
 小規模企業景気動向調査 第3四半期 (R5年10～12月)

①業種及び地域別景気動向

業 種		製造業		建設業	卸・小売業			サービス業		
		食料品 等	機械 金属		耐久消費 その他	食料品	外 食	旅館	理美容 その他	運輸
町 内	売上額	→☀	→☁	→☁	↘☂	↗☀	↘☂	→☁	↗☀	↗☁
	仕入単価	→☂	↘☂	↗☂	→☂	→☂	→☂	↘☂	→☂	→☂
	採 算	↗☀	↗☁	↘☂	→☂	↗☀	↗☁	↘☂	↗☁	→☂
	資金繰り	→☁	→☁	↘☂	↗☂	↘☂	↗☀	↘☂	↗☁	→☂
	業界の業況	→☀	↗☀	→☂	→☂	↗☀	↘☁	↗☁	→☁	↗☀
北 信		↗改善		→悪化	→改善		↘不変	↗改善		↘悪化
県 内		持ち直しの動きに弱さがみられる								
全 国※		↗-25.3		↗-5.0	↘-27.6		↗-4.1	↘-18.6		↗-9.1

(※ 景況 DI 値で表示、+値が大きいほど好調)

② 景気動向報道及び特記事項

《町内》

コロナ禍明けで逆にお客さんが減った。外国人客を扱っている先は景気がよさそうだ(宿泊業)
 宿泊税導入は反対である(宿泊業)
 一般客は回復傾向にあるが、食材、光熱費などのコスト高に天井が見えない(飲食店)
 降雪が少ないので年末、年始の客入りが不安(宿泊業)

《北信》

漬物は観光客が増えたが販売増にはつながっていない(味噌・漬物製造業)
 北陸や首都圏の引き合いが多いが、県内の引き合いは大型物件以外、低調(内装工事業)
 高齢者向けの衣料品のネット販売が好調(婦人衣料品店)
 インバウンドが急増している。台湾や香港の旅行客が多い、人手不足が課題(観光ホテル業)

《県内》

持ち直しの動きに弱さがみられた

《全国》

産業全体：一部で景気改善に一服感がみられるも、直近1年で最高値を示した景況感
 製造業：慢性的なコスト高の影響を受けるも、稼働率上昇で好調
 建設業：民間事業を中心に受注は堅調も、経費支出の増加から、資金繰りに苦慮
 小売業：年末需要の増加から、衣料・食料品が全体を引き上げた
 サービス業：好調を維持するも、やや景気に一服感がみられる

参考資料：

長野信用金庫「長野しんきん北信経済動向“すかい”」・長野経済研究所「経済月報」・日銀「経済動向」
 日本政策金融公庫「全国中小企業動向調査結果」・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」